

**BASF**

We create chemistry



**省力化へ発進!**

**ドローンで撒けるバサグラン登場!**

水稲用除草剤

**バサグラン<sup>®</sup>・エア-1キロ 粒剤**

®=BASF社の登録商標



クログワイ

ホタルイ

ミスガヤツリ

オモダカ

ウリカワ

ヘラオモダカ

## ■適用雑草と使用方法

(2023年6月7日現在)

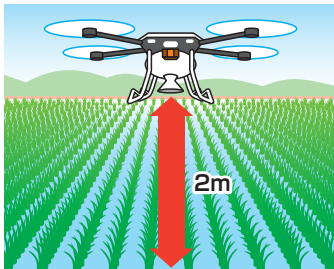
作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ベンタゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	一年生雑草(イネ科を除く)及びマツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワ、クログワイ、オモダカ	移植後15~55日 但し 収穫60日前まで	1kg/10a	1回	落水又はごく浅く湛水して無人航空機による散布  落水散布又はごく浅く湛水して散布	2回以内

## ■ドローンによる推奨散布方法

ほ場周辺への飛散防止と薬剤を十分に拡散させるために、以下の条件を参考に散布してください。


### 散布条件

#### 飛行高度



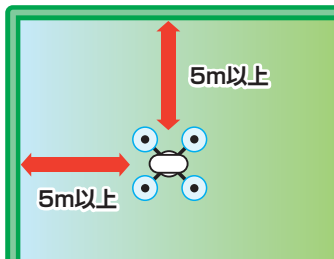
2m

#### 風速



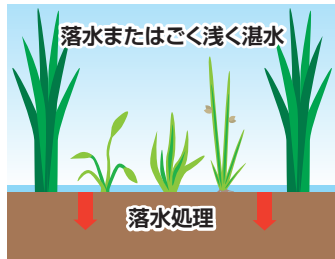
3m/秒以下

#### 畦畔からの距離



5m以上

#### 水深



落水またはごく浅く湛水  
落水処理

### 推奨散布方法(目安)

機体	散布装置	飛行速度(km/時)	インペラ回転数	散布幅(m)	シャッター開度
T10	GS110	15	600rpm	5	9.7%
MG-1	GS110K GS220		1200rpm	4	16.5%
YMR-08	GR1-10 標準ローラー	固定	5	vol.64	
	GR1-10 ひし形ローラー			vol.15	
AC101	AC101 P13	中	5	38%	
AC101 connect				15%	

※機材によって誤差が生じることがありますので、散布前に薬量の調節確認を実施してください。

### ⚠️ 使用上の注意事項

- 本剤は水の移動に伴う移行性が大きく、一般に水深の浅いほど効果が安定します。
  - 使用に当たっては落水状態(足跡に水が残っている状態)にして水の出入りをとめ、まきむらのないよう均一に散布してください。
  - 水を落とすことができないところでは漏水のない水田に限り、できるだけ浅水状態(雑草が水面上に出る状態)にしてまきむらのないよう均一に散布してください。
  - 散布後少なくとも3日間(浅水処理は5日間)はそのままの状態を保ち、入水はしないでください。また、散布後7日間は降雨の有無にかかわらず落水、かけ流しはしないでください。
  - 処理後2日以内に降雨があると効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時を選んで使用してください。
  - 深水にすると効果が劣るので注意してください。
- 無人航空機による散布に当たっては、次の注意を守ってください。
  - 散布機種別の散布基準に従ってください。
  - 散布機種に適合した散布装置を使用してください。
  - 事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整してください。
  - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m離れた位置からほ場内に散布してください。
  - 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- イネ科雑草には効果が劣るので、田植前後の土壌処理除草剤で一年生雑草を防除した後、多年生水田雑草及び一年生広葉雑草の防除を目的として使用してください。
- 砂質土及び漏水のはげしい水田では使用しないでください。(減水深2cm/日以上)
- 本剤は生育期に入った雑草に効果がありますが、雑草、特に多年生雑草は生育段階によって

効果にふれが出るので必ず適期に散布してください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワでは、発生盛期から増殖中期まで、オモダカでは発生盛期から発生前期まで、クログワイでは草丈15cm~20cmまでが本剤の散布適期です。

### ⚠️ 安全使用上の注意

- 誤食などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は保護眼鏡、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔うがいをしてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

魚毒性等…水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。無人航空機による散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意してください。

保管…直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋は園場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2023年6月の知見に基づいて作成されています。

## BASFジャパン株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階  
☎0120-014-660 <https://crop-protection.basf.co.jp/>

詳細やSDSはWEBで  
ご覧いただけます。

